

解剖学：感覚

41-026 皮膚感覚と受容器との組合せで正しいのはどれか。

1. 圧覚—ルフィニ終末
2. 温覚—パチニ小体
3. 触覚—クラウゼ小体
4. 痛覚—自由終末
5. 冷覚—マイスネル小体

42-020 痛覚の受容体はどれか。

1. 自由神経終末
2. マイスネル小体
3. ルフィニ小体
4. パチニ小体
5. メルケル盤

42-026 感覚系と関係しないのはどれか。

1. 内側毛帯
2. 大脳脚
3. 蝸牛神経核
4. 内包後脚
5. 外側膝状体

46-P-061 皮質覚（複合感覚）に分類されるのはどれか。2つ選べ。

1. 二点識別覚
2. 関節位置覚
3. 部位覚
4. 圧覚
5. 振動覚

49-P-061 皮膚感覚と受容器の組合せで正しいのはどれか。

1. 痛覚——自由神経終末
2. 温覚——Pacini(パチニ)小体
3. 冷覚——Meissner(マイスネル)小体
4. 触覚——Krause(クラウゼ)小体
5. 圧覚——Ruffini(ルフィニ)終末

49-P-062 複合感覚に含まれないのはどれか。

1. 重量覚
2. 部位覚
3. 立体覚
4. 関節位置覚
5. 二点識別覚

解剖学：視覚器

41-027 視覚系で正しいのはどれか。

1. 右視野の物体は網膜の右半分に像を結ぶ。
2. 錐体細胞は周辺視野の受容器である。
3. 杆体細胞は暗順応に関与しない。
4. 視覚信号は外側膝状体でニューロンを乗り換える。
5. 大脳一次視覚野は側頭葉にある。

43-026 眼球について誤っているのはどれか。

1. 中心窩は網膜で最も視力のよい部分である。
2. 視神経乳頭は眼球後面のやや鼻側にある。
3. 虹彩は網膜に達する光の量を調節する。
4. 毛様体筋が水晶体の厚さを調節する。
5. 杆体は明所視に働く。

44-026 正しいのはどれか。

1. 瞳孔散大は副交感神経の作用である。
2. 視細胞の錐状体は明暗感覚に関与する。
3. 視神経乳頭部は視力の最も良い部分である。
4. 内側膝状体は視覚伝導路に含まれる。
5. 左視野の視覚情報は右後頭葉に入力する。

45-P-056 正しいのはどれか。

1. 眼球外膜は角膜と強膜とからなる。
2. 眼球運動は4種類の外眼筋が行う。
3. 水晶体は虹彩の前面にある。
4. 毛様体は強膜の外側にある。
5. 網膜は硝子体の全面を覆っている。

47-P-059 視覚器で正しいのはどれか。

1. 虹彩には瞳孔括約筋がある。
2. 眼動脈は外頸動脈の分枝である。
3. 視神経乳頭は眼球軸の外側にある。
4. 角膜には血管が多数分布している。
5. 網膜中心窩には錐体よりも杆体の方が多い。

48-P-060 視覚器で光の受容器があるのはどれか。

1. 角膜
2. 虹彩
3. 網膜
4. 毛様体
5. 硝子体

50-P-062 静止している人が、動いている乗り物を注視する際にみられる生理的な眼球運動に含まれるのはどれか。

1. 固視微動
2. 注視眼振
3. 頭位眼振
4. 回転後眼振
5. 視運動性眼振

解剖学：聴覚・前庭覚器

40-004 正しいのはどれか。

1. 耳管は咽頭と内耳を連絡する。
2. 耳石は蝸牛にある。
3. 鼓膜は中耳と内耳を隔てる。
4. 半規管は頭部の回転運動を感受する。
5. コルチ器は身体運動の加速度を感受する。

41-028 正しいのはどれか。

1. 耳管は外耳と上咽頭とをつなぐ。
2. キヌタ骨は鼓膜に接する。
3. 蝸牛は内耳にある。
4. 音は半規管で感知される。
5. 第8脳神経核は中脳にある。

43-027 回転加速度を感知するのはどれか。

1. 耳小骨
2. 蝸牛管
3. 球形囊
4. 三半規管
5. コルチ器

44-027 正しいのはどれか。

1. 耳小骨は内耳にある。
2. コルチ器は三半規管にある。
3. 平衡斑は卵形囊と球形囊とにある。
4. 蝸牛は頭部の回転加速度を検出する。
5. 前庭神経核から動眼神経核への連絡はない。

45-P-063 正しいのはどれか。

1. コルチ器官には有毛細胞がある。
2. 耳小骨は鼓膜の音振動を減弱させる。
3. 耳小骨に付着する筋が収縮すると音の伝達は増幅される。
4. 音に対する蝸牛の基底膜の反応は周波数によらず一定である。
5. 有毛細胞の不動毛はどの方向に動いても有毛細胞を脱分極させる。

50-A-057 平衡聴覚器の解剖について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 耳管は咽頭に開口している。
2. 鼓膜はキヌタ骨に接している。
3. 内耳は側頭骨の錐体部内にある。
4. 前庭は蝸牛と三半規管からなる。
5. 中耳には聴覚と平衡覚をつかさどる感覚器がある。